

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2022 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2254
研究開発課題名	牡蠣（カキ）養殖生産を向上させる自立型海底水揚水装置 S P A L O W (S o l a r - P o w e r e d A i r L i f t f o r O c e a n W a t e r)
研究代表者	広島大学 統合生命科学研究科 教授 小池 一彦

総合評価

漁業現場の課題に即した取り組みで、瀬戸内のみならず他の海域への展開も期待できる。事業化のための技術的検証には課題が残るものの、本研究開発において基本的なフィージビリティスタディが実施されたと評価する。事業化に向けた体制づくりも進めており今後の進展が期待できる。市場性を含めたビジネスモデルの検討が今後重要となる。

以上